

令和2年度消費経済調査員が決まりました

一年間よろしく申し上げます

新年度の消費経済調査員の委嘱式を4月7日、市民活動センターで予定しておりましたが、今回の新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、委嘱式を中止としました。委嘱状など貸預品については、職員が各調査員のご家庭に配布をしてきました。

調査員の主な業務は、消費生活条例に基づき毎月10日に生活必需品（食料品、日用品、燃料など）の価格を市内の食料品店、ガソリンスタンド、燃料店で調査します。

また、ご家庭で購入した商品の量目調査を年3回（6・9・11月）行います。調査の結果は、くらしのニュース、市ホームページ、報道機関などを通じて市民の皆様に公表しています。

《価格動向調査》

4月10日調査（価格は税込み）

品名	規格	単位	平均価格（円）		
			今月	前月	前年同月
灯油	ホームタンク	ℓ	80.4	94.4	90.8
ガソリン	レギュラーガソリン	ℓ	116.9	143.4	145.9
軽油		ℓ	100.4	126.8	128.5

※ 消費経済調査員11名が、市内の19店舗で価格を調査しています。

4月10日の価格動向調査は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、調査員さんが食料品店へ出向いて行う価格調査を中止としました。

今月は、電話で価格の聞き取りを行える灯油・ガソリン・軽油のみの調査とさせていただきますので、今月は3品目となっています。

今後の価格動向調査につきましても、国及び北海道の動向を注視し、調査の実施を検討していきます。

経済活動が停滞・・・ 他方面では・・・

新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）による経済活動の停滞で、温室効果ガスの排出量が急減しています。なんと中国だけでも国内のCO2排出量が25%も減少した計算になっています。世界的にも移動制限がなされ、なかでも通勤がかなりの温室効果ガスの排出量を占めていることから、一時的とはいえ環境面には良い影響を及ぼしていると思われます。

私たちの日常生活にもガソリン価格等は、大きく関係しています。上記の平均価格では、灯油・ガソリン・軽油ともに前月を大幅に下回りました。需要と供給のバランスなど様々な要因はあるのかもしれませんが、皮肉にも不要不急の外出制限の中での下落。消費者としては制限の解除後も低価格が続くことを望みます。また、経済活動が活発になってきた時の温室効果ガスの排出量も気になります。